

2020 年度活動計画

1. 自主防災組織活動方針

- ① “自分の命は自分で守る”を基本に、住民の防災意識と防災知識・能力を高める。
- ② 当面予想される大地震や火災、台風等の被害を軽減・防止するため、平常時における防災知識の普及・啓発・広報につとめる。日赤減災セミナー、救急救命講習会、防災訓練、防災住民意見交換会、を開催して災害時に備える。9月と3月に防災の日と防災週間を設定し、備蓄品等の確認を行う。
- ③ 土浦市にある筑波研究学園専門学校を災害時の一時避難所として利用できるよう、学校、行政及び近隣の自治会と協議を進める。
- ④ 災害時の生活用水を確保するため、中央公園に災害用井戸を整備する計画を具体化する。
- ⑤ 自主防災組織は住民全員が会員の組織。今年度も年数回開かれる防災会議をよりオープンなものとするために、防災会議の開催案内を広く会員の皆さまにお知らせするので、ぜひご参加ください。

2. ひなん支援部会

- ① 災害時ひなん支援希望者調査を実施する(4月予定)。
 - ・支援希望者リストを更新し、必要に応じてサポーターを決める。
 - ・安否確認で使用する名簿と地図を作成し、倉庫に保管する。
 - ・支援希望者宅の訪問を年3回実施する。
- ② 日本赤十字減災セミナーを、災害時高齢者生活支援をテーマに実施する(6月予定)。
- ③ 防災訓練で安否確認を担当する。

3. 情報部会

- ① 自主防災活動の広報
 - ・「防災だより」を年6回発行して活動報告、催し物の案内、その他お知らせ等を広報する
 - ・ホームページ(HP)に訓練や講習会のお知らせ、防災だよりの掲載、自主防役員会の議事録などを掲載(防災員ページ)し、自主防災組織の活動状況が分かるようにする。
 - ・地震・台風・強風・大雨・高温など異常気象が予想される場合、および周辺環境状況の悪化など注意喚起のための防災メールを発信する。
 - ・災害時には掲示板、ホームページ、防災メール、街宣車を使用して情報を提供する。
- ② 防災メールおよびHPの管理運営
 - ・自治会新役員、新入居者へ防災メールの登録をお願いするとともに、防災メール登録促進用チラシを作成する。防災メール相談会を開催する(2回)
 - ・HPの掲載内容は常に新しい情報が提供できるように随時更新を行う。
- ③ 防災住民意見交換会を「ちょっと防災を考えよう」シリーズとして開催する。

4. 訓練部会

- ① 救急救命講習会の実施(7月予定)
- ② 防災訓練の実施(10月予定)
 - ・安否確認、災害対策用資機材の取扱い説明と使用体験、子供プログラム、消火栓取扱訓練を予定。
 - ・防災訓練実施のために関係者との事前打合せ・準備を行う。